

授業改善推進プラン【 4年 】

令和7年度 小平市立小平第四小学校

	学習状況の実態及び課題	具体的な改善策(いつまでに、どの程度)
国語	- 漢字の読み書きの定着に課題が見られる。 - 文章を書くことが好きな児童と苦手な児童の差が大きい。 - 文章を根拠に内容を読み取るための読解力が身に付いてきているが、それを自分の言葉で表現することに抵抗を感じる児童も多い。 - 自信のあることに対して、積極的に発言する児童が多い。一方、学習に参加しようとならない児童も一定数いる。	- 新出漢字の反復練習を授業以外でも定期的に行い、文を書く際には学習した漢字は書く習慣を身に付けさせる。 - 授業での振り返りで作文力を高めたり、週に1回日記を書く課題に取り組みせたりして文章を書くことに慣れさせる。 - 自分の考えをノートに書かせたり、少人数での話し合いに取り組みせたりしながら、自分の言葉で表現する力を高める。 - 学習者用端末などを活用して、意見の交流を促す。 - 全員参加型の授業スタイルの視点を取り入れた授業の工夫を積極的に取り入れ、授業に参加する楽しさを感じさせる。
社会	- 課題に合わせて本やインターネットを用いて資料を集めることができるが、情報を比較検討したり整理したりすることに課題が見られる。 - 生活に身近な社会的事象への関心は高く、意欲的に学習する児童が多い。	◎学習課題を明確にし、既習事項や生活経験から自分なりの考えをもつとともに、資料から必要な情報を読み取れるようにする。 ・課題解決の際に調べる目的や視点を全体で確認し、適切な資料を選択する経験を積ませる。 ・グラフや表の項目や数値に注目させて特徴を考えさせたり、全体的な傾向を読み取ったりする活動を多く取り入れる。 ・学習者用端末を活用することで必要な資料を集めたり、学んだことを効果的にまとめたりできるようにする。
算数	- 既習の基本的な計算技能(わり算の筆算など)がまだ十分に身に付いていない児童がいる。 - 問題文を正確に読み取ることが全体的に苦手で、少しでも出題の仕方が違うと誤答してしまう。特に一つの問いで解答までに複数の段階を踏む必要がある問題に困難がある。	・基礎基本の定着を重視した授業展開を行い、問題演習を多く行う。 ◎プリントやドリルなどを活用し、下学年の学習内容も含めた反復練習に取り組みさせる。 ・補習日や学期末には既習の問題を復習させる機会を設け、基本的な計算力が身に付くようにする。
理科	- 用語の理解や実験器具の操作など、基礎基本の定着が不足している。 - 根拠のある予想や考察を書くことに難しさを感じている児童がいる。 - 自然事象に対する興味関心が高く、植物の栽培や観察、実験に積極的に取り組む児童が多い。	・定期的に学習内容を遡って振り返る時間を設け、基礎基本の定着を図る。 ◎既習事項や経験から根拠のある予想が考えられるようにポイントを絞る。また、実験結果から、どのようなことを考えられるか少人数で交流させながら、考察できるようにする。また、見通しをもって実験に取り組めるように、実験前に予想と結果を結びつけさせる。 ・自分なりの疑問を基にした学習に取り組むことで、より興味関心が高まるような学習活動をすすめていく。
音楽	- 歌を覚えて、すすんで表現する児童が多い。 ・旋律の重なりを楽しみながら楽曲の面白さを感じ取ったり、感じ取ったことを言葉や音で表現したりする経験、音符や文字に書き表わす力を高める必要がある。 ・体を動かす活動では、よく音をよく聴きリズムを合わせて活動することに個人差があり、支援が必要な児童もいる。	◎歌唱を通して音楽の特徴をつかみ、よく聞いて良さを味わうことを、児童一人一人が協力的に取り組む、楽しく音楽活動に取り組む。 ・リコーダーの指導では、音楽の特徴に気付き、タンギングや指使い等の基礎を身に付け、基礎・基本を定着させる。 ・話し方、聴き方を大切に、お互いの発表や意見を尊重し合うことで、安心して発表し、友達の意見を生かして自分の表現を工夫することができるようにする。 ・体を動かす活動を通して友達と気持ちよくコミュニケーションをとれる時間をとり、静かに取り組む時間の両方を意識し切り替えられるようにする。
図工	- 自分の感覚や行為を通して、造形的な特徴を分かることができ、自分なりに工夫して表すことができる。 - 作品への思いをもてず、作業に手をつけられなかったり、時間をかけても仕上げられなかったりする児童が多い。 - すすんで表現したり鑑賞したりする活動に取り組むことができる。	◎活動の中で、楽しさが味わえ、充足した時間となるよう、サポートしていく。 ・児童が活動の中で自分のイメージに気付いて活動の展開が図れるよう、一人一人の特性が表れる題材を設定する。 ・新しい材料用具は自分の感覚を通して特徴を捉えられるように、活動の時間を十分にとるようにする。 ・見通しをもって活動に取り組めるよう、ワークシートを用いて作品のデザインを予め考えるなどの手だてを講じて授業する。
体育	- ボールやなわなどの道具を使って運動したり、泳いだりするなど、技能面の習熟に大きな個人差がある。 - 運動に応じためあてをもち、活動の仕方を考え、工夫して運動しようとする力が向上している。 - 運動することが好きな児童が多く、意欲的に学習に取り組んでいる。	◎学習カードを活用し、自分のめあてや作戦を具体的に選ばせて活動に取り組ませる。また、学習する中で見付けたポイントを伝え合い、運動の工夫ができるようにする。 ・絵や図、動画を活用して、運動の仕方のポイントとなる資料を提示したり、学び合いの時間を確保したりして技能の向上を図る。 ・学習の中にめあてに対する振り返りを必ず取り入れる。学習カードを活用し、思考を言語化させることで、思考の活性化を促す。

総合	・意欲的に学習に参加できている児童が多い。 ・課題設定や課題追究など、学習のプロセスに慣れていない児童がいる。特に課題設定をしっかりとつことに課題が見られる。 ・調べたことや自分の思い、願いを適切に表現することが苦手の児童がいる。	・地域の題材設定、人材活用をすることで、より自分の事として取り組めるようにする。 ◎体験的活動を通して、感じたことから課題を立てさせる。また、資料を用意し問題点が分かりやすく理解できるよう提示の仕方を工夫する。 ・様々な表現方法を例示し、その中から選択させ、自分の考えを表現できるようにする。 ・友達のアイデアを参考にする機会を設定し、学び合いながら表現方法の工夫を身に付けさせていく。
特活	・当番活動などに積極的に取り組んでいる。 ・当番活動に自主的に取り組める児童が多いが、個人差がある。 ・係活動では、みんなが楽しめる企画を計画・実行できる児童もいるが、個人差がある。 ・学級会では、友達の意見を聞き入れて合意形成に至る過程に慣れていない。	◎よりよい生活を築くために、学級会での話し合い活動に慣れさせ、活動の中での自主的な意見交換の場を充実させる。 ・それぞれの係や当番での工夫を取り上げ称賛される機会を設けたり、定期的に振り返りを行ったりして、更に意欲的に取り組めるよう支援する。 ・学級会を定期的に関き、話型や話の聞き方の指導を行うことで話し合いの仕方を身に付けさせ、議題に沿った話し合いができるようにする。
道徳	・コミュニケーションを積極的に取ろうとし、元気よく挨拶ができる児童が多い。 ・社会的な基本的なルールやマナーに関しての正しい知識が足りない。 ・友達のことを気遣う場面も見られるが、相手の考えや思いよりも自分の言動を押し通そうとする場面が見られる。	◎B「主として人との関わりに関すること」を重点に指導する。相手の気持ちをより深く理解できるよう、自身と相手の考え方や捉え方の違いがあることに気付かせ、相手を思いやることができる心を育む。 ・授業で学習したことを、日常生活に照らし合わせて振り返らせる。 ・月ごとのめあてを基に、定期的に学校の決まりを振り返らせ、ルールやマナーについての指導を繰り返す。
外国語	・外国語の文化に興味をもつ児童が多い。 ・基本的なあいさつや天気についての表現に親しんでいる。 ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合うことに苦手とを感じる児童がいる。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況を設定し、どうしたら相手に伝わるのか考えながらやり取りをできるようにさせる。 ◎ゲームなど楽しい雰囲気でのコミュニケーションをとりながら、繰り返し音声を聞かせ、英語表現に慣れ親しませるようにする。